

2023年10月22日

一般社団法人 日本医療検査科学会 国際交流委員会

## 2023年度第2回委員会議事録

1. 日時：2023年10月6日(水) 17:00～18:00
2. 場所：パシフィコ横浜 5F 511+512号室 と On-line[Zoom]会議
3. 出席者(敬称略)：橋口委員長、康委員、大川委員、工藤委員、三浦委員、岡田委員、柳原委員、佐藤委員、中沢委員、村上オブザーバー、萩原副委員長  
欠席者(敬称略)：田畑委員、菊池オブザーバー

### 4. 配布資料：

- ・ 審議事項、報告事項の資料

### 5. 議事

#### 1) 審議事項

#### (1) 第55回大会国際交流委員会国際シンポジウム企画について

- ・ 橋口委員長より、3日間に開催するシンポジウム企画について説明があった。

- ・ **第1日目国際シンポジウム：Diabetes Symposium**

10月6日(金) 13:00～15:00 第10会場/315号室

座長：大川 龍之介、佐藤 麻子

1.Future Prospects and Activities of the JCLS International Committee and International Diabetes Working Group

○Tetsuo Miura, *Japan*

2.Diagnostic Criteria for Diabetes Mellitus -History and HbA1c Adaption-

○Asako Sato, *Japan*

3.The Current Situation of Type 2 Diabetes Mellitus in Indonesia: a Laboratory Perspective

○Maria Immakulata Diah Pramudianti, *Indonesia*

4.Apolipoprotein E and Cardiovascular Risk in Type 2 Diabetes Mellitus

○Ni Putu Tesi Maratni, Ketut Suastika, *Indonesia*

- ・ **第2日目国際シンポジウム (JACLaS 共催)：JACLaS International Award Symposium**

10月7日(土) 13:00～15:00 第10会場/315号室

座長：康 東天、橋口 照人

1.Functionalized Graphene Oxide-antibody Conjugate Based Electrochemical Immunosensor for the Detection of Opisthorchis Viverrini Antigen in Urine

○Nang Noon Shean Aye, et al. *Thailand*

2.The Prevalence and Identification of Hemoglobinopathy by Capillary Electrophoresis among Adults in Phnom Penh City, Cambodia

○Philip Poul et al, *Cambodia*

3.Sustained Drug Release from Quercetin-loaded Gold Yarnballs Rescues Age-Related Macular Degeneration via Reducing Oxidative Stress and Inflammation

- Henkie Isahwan Ahmad Mulyadi Lai, et al. *Taiwan*
- 4. Survey on AST and ALT Levels in Dengue Hemorrhagic Fever Patients
- Luc Kim Nhung, *Viet Nam*
- 5. First Report of Acanthamoeba spp. Isolation from Flatrock Streams and a Volcanic Mud Spring in the Philippines
- Crisselle Marie C. Celis, *Philippines*
- ・第3日目国際交流シンポジウム：Young Scientists Symposium
- 10月8日（日） 13：00～15：00 第10会場／315号室
- 座長：岡田 光貴、工藤 芳子
- 1 Challenges in Developing New Laboratory Methods for Detecting Natural Toxins in Biological Samples
- Kohki Okada, *Japan*
- 2 Synergistic Antileishmanial Activity of Artesunate and Curcumin: A Novel Therapeutic Strategy
- Nuchpicha Intakhan, *Thailand*
- 3 Novel Clinical Value of Autotaxin as a Serum Biomarker
- Kazuya Takemura, *Japan*
- 4 Can Serum Fructosamine Outperform HbA1c in Diagnosis and Monitoring of Diabetes Mellitus?
- Vivek Pant, *Nepal*
- ・海外演者に対する謝礼について
- 講演料(謝金)は、インボイス制度の導入に伴い税務処理が複雑となるため、交通費と宿泊費として20万円を上限として4名の演者に支払うことを確認した。

## (2) JACLaS International Award のあり方について

- ・今回の International Award は、国際交流委員会と JACLaS との企画としたが、次年度以降は学会と JACLaS の企画とすることを理事会への提言することとした。

## (3) 第56回大会（2024年）ASEAN 諸国からの一般演題の受入れについて

- ・今大会においては、海外からの一般演題はシンポジウム枠の中でエントリーした。
  - \* 招待者89名のリストを作成
  - \* 学会受付は忙しく英語対応が困難なため、招待者の受付は JACLaS 展示受付にて行う。
  - \* 学会の参加証(無料)、Certificate、英語版の国際シンポジウムのスケジュール、抄録のコピー(国際シンポジウムの箇所のみ)、学会場マップを渡す。
- ・解決すべき問題点の整理
  - \* 学会細則の確認
  - \* 学会会員登録と学会参加費用について
  - \* 英語版の抄録
- ・学会間であれば MOU を締結することも考えられるが、本学会の場合は少し構図が異なる。
- ・協議の結果、以下を理事会に上程することとした。

- 「56回大会以降の来賓あるいはシンポジスト以外は、全て正式参加(有料)を基本とする」
- 「海外参加希望者が参加登録できる仕組み(システム)を構築する」
- 「海外参加者向けの抄録のあり方について検討する」
- 「学生は参加費無料で良いのではないか」

#### (4) 中国との学術交流について

- ・康委員から、中国の学会との協議について報告があった。
- ・協議の結果、次年度以降に以下について康先生を窓口にして活動を進めることとした。
  - \* 教育講演、シンポジウム枠の設置
  - \* 検査技師の検査室間交流
  - \* JACLaS International Award の紹介
  - \* その他

#### 2) 報告事項

##### (1) 特別賛助会員への活動報告について

- ・2022年度の委員会活動報告を、2023年7月4日に日本橋ライフサイエンスビル912講義室にて行った。
- ・特別賛助会員（50音順）：
  - アークレイマーケティング株式会社
  - 株式会社テクノメディカ
  - 株式会社日立ハイテク
  - シスメックス株式会社
  - シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社
  - 富士フイルム和光純薬株式会社

##### (2) その他

- ・大川委員から、以下の報告があった。

今年の8月タイのチュラロンコン大学を訪問した際、タイの臨床検査の学会の理事長と面談をし、双方の学会でシンポジウムを企画し招聘する意向を確認した。

明日、理事長と先方学会の国際交流委員会の委員長が来場するので、明日のシンポジウムの後に上記について話し合いたく、橋口委員長と大川委員とで協議することとした。

以上  
(記録：萩原)